

数字で見る 平成28年度の まちづくり

平成28年度の一般会計決算と4つの特別会計決算が、9月議会で認定されました。一般会計は、歳入が213億3111万1千円、歳出が204億4691万8千円で、形式収支は8億8419万3千円の黒字でした。実質収支は、7億480万5千円の黒字でした。また、公共下水道事業会計は、地方公営企業法を適用して企業会計になってから初めての決算でした。今月は、平成28年度に市のお金がどのように使われたかお知らせします。

一般会計について
公共下水道事業会計について
市財政課 ☎ 43・8114
市下水道課 ☎ 62・5068

語句の説明



津屋崎花子 市財政課職員。予算の編成などを担当
福間太郎 新規採用職員。市役所の仕事を勉強中

一般会計 市の運営の基本的な経費を計上する会計
特別会計 特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して経理する会計
形式収支 歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額
実質収支 形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した額
市税 市民税や固定資産税など市に納められた税金
地方交付税 等しい行政サービスの提供のため、一定の基準により国が配分するお金
国庫支出金、県支出金 特定の事業に対し、国や県から交付されたお金
市債 公共事業などの財源として、国や金融機関などから借りたお金
諸収入 市の預金利息や貸付金の元利収入などのお金

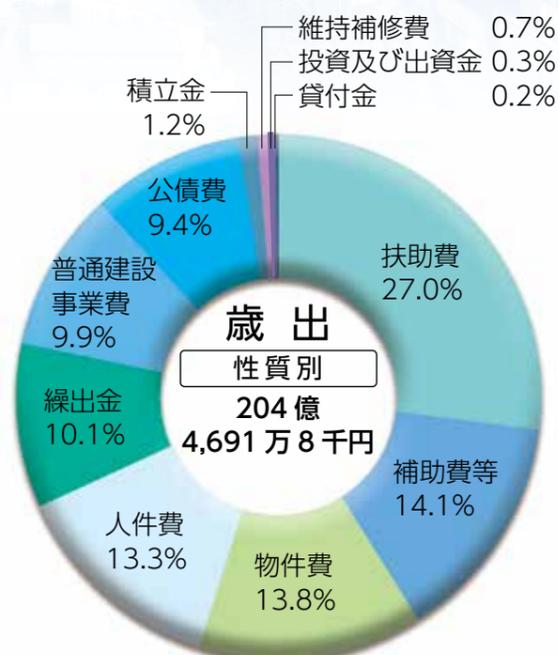
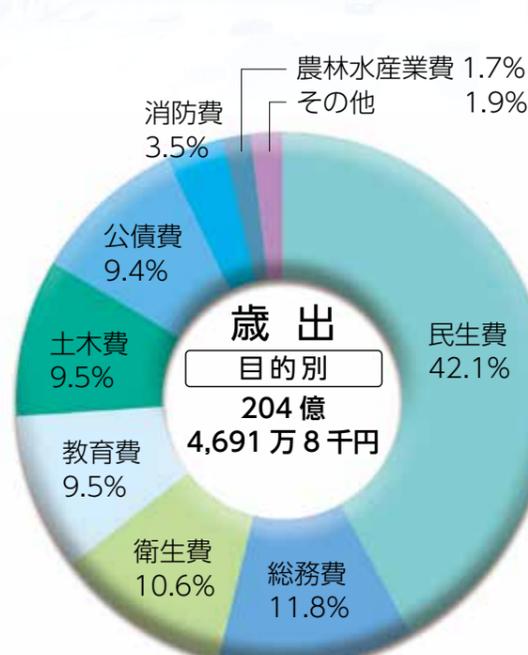
歳入、歳出とも 前年度より減少

8月号で予算のことを教えたいただきましたが、今度は決算です。決算って、どんなものですか。決算は、年度の始まりの4月から翌年の3月までの1年間に、市の収入がどれくらいあって、どのようなことにお金を使ったかを数字で表したものです。家庭で言えば、1年間家計簿をつけた結果みたいなものね。なるほど。家計簿と言われると、イメージしやすいです。では、昨年度に市のお金がどのように動いたのか教えてください。まずは歳入のグラフを見て。市の収入には、独自で調達する自主財源と、国や県からもらう依存財源があって、大きな割合を占めるのが自主財源である市税の28・5%、依存財源である地方交付税の24・3%ね。歳入は、前年度から0・1%減少したの。歳入が減ったんですね。どうしてなんですか。主な要因は、市債が19・1%、地方交付税が2・4%減少したことね。一方で、転入者や新築家屋が増加したおかげで、市税は3・0%増加したわ。

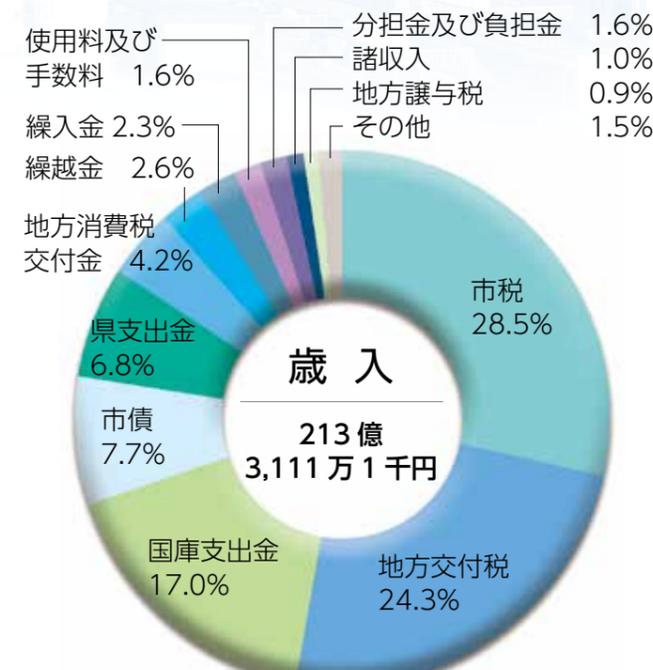
特別会計決算

区分	決算額	
国民健康保険事業	歳入	77億3,420万6千円
	歳出	77億43万1千円
	差引	3,377万5千円
後期高齢者医療事業	歳入	9億2,526万8千円
	歳出	9億1,811万8千円
	差引	715万円
介護保険事業	歳入	46億8,535万2千円
	歳出	45億3,798万7千円
	差引	1億4,736万5千円
住宅新築資金等貸付事業	歳入	1,168万2千円
	歳出	466万8千円
	差引	701万4千円

一般会計歳出



一般会計歳入



語句の説明

民生費 高齢者や障がい者、児童などの福祉に使われたお金
土木費 道路や公園などの維持、整備に使われたお金
総務費 総務管理、財産管理、企画、賦課徴収などに使われたお金
衛生費 ごみ・し尿処理、健康増進などに使われたお金
公債費 これまでの公共事業などのために借り入れたお金の返済に使われたお金

教育費 公立学校や幼稚園、図書館などの維持、整備や社会教育に使われたお金
消防費 消防団活動や防災事業などに使われたお金
農林水産業費 農業、林業、水産業などの振興に使われたお金
扶助費 生活保護費や児童手当、障がい者自立支援給付費などに使われたお金
普通建設事業費 道路や公園、学校などの建設事業に使われたお金
人件費 職員の給与や手当、議員や各種委員の報酬などに使われたお金
物件費 備品購入や消耗品費、業務の委託などに使われたお金
繰出金 特別会計へ繰り出されたお金
補助費等 各種団体への補助金や負担金に使われたお金
積立金 基金（市の貯金）の積立に使われたお金
投資及び出資金 水道事業への出資に使われたお金
維持補修費 道路や施設の維持補修に使われたお金
貸付金 中小企業融資貸付などに使われたお金

住みよい豊かなまちづくりのために

それでは、昨年度は実際にどんなことにお金が使われたのか教えてください。

じゃあ、歳出の話をするわね。歳出のグラフは2つあるでしょう。目的別のグラフは、総務費や民生費などの使う目的で分けたもので、性質別のグラフは、人件費や扶助費などの性質で分けたものよ。歳出は前年度に比べ1・7%減少したわ。

歳入が減少していましたが、歳出も減少したんですね。

目的別で見ると、私立保育所運営委託料や障がい者自立支援給付費などの増加で民生費が6・0%の増加、福岡駅前線電線共同溝事業やJR東福岡駅自由通路改修事業などで土木費が6・6%の増加と増えたものもあるよ。一方で、庁舎統合整備事業の完了などで総務費が19・4%減少、福岡南小学校の校舎や給食室の増築工事が27年度で完了したことなどで教育費が13・6%減少したことが、全体で前年度より歳出が減少したのよ。なるほど。性質別で増加の割合が大きいのは、何ですか。

性質別では、私立保育所運営委託料や生活保護費などの扶助費で15・0%の増加、補助費等で22・3%の増加が大きいわね。補助費等の増加は、下水道事業が公営企業会計になったことで、下水道事業会計負担金が繰出金から補助費等へ移ったことが大きな要因よ。水道事業などを行っている宗像地区事務組合への負担金も補助費等に含まれるわ。昨年度に行った主な事業を6ページにまとめたから見えてみるわ。

いろいろな分野の事業がありま すね。まちづくりには、いろいろなことにお金が必要なんですね。そうですね。今後も、児童増加への対応や高齢化への対応、公共施設の老朽化対策など、さまざまな行政需要が増大することが予想されるわ。一方で、国から交付される地方交付税は、今後減少することが見込まれるの。これらに対処するためには、まずは財務体質を強化することが重要よ。

財務体質の強化って具体的に は、どんなことなんですか。歳入面では、市税の滞納対策などの増収策を引き続き講じていかないとね。歳出面では、増大傾向にある物件費や維持補修費などの経常経費をできるだけ抑制し、効率的な行政経営を行っていく必要があるわ。

限られたお金、大切に使うって かないといけないんですね。

主な財政指標

各種指標	平成28年度	平成27年度	
財政力指数	0.556	0.546	
経常収支比率	93.4%	92.5%	
健全化判断比率	実質赤字比率	-	-
	連結実質赤字比率	-	-
	実質公債費比率	5.7%	5.4%
	将来負担比率	0.2%	-

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、赤字が生じていないので「-」と表示し、平成27年度の将来負担比率は、基金などの額が将来負担額を上回るため「-」と表示しています。財政健全化を定めた法律の規定により、数値のない比率も公表しています。

財政力指数 市の財政が豊かであるかどうかを判断する指標。合理的に行政を行った場合、市税などの標準的な収入で費用をどれだけまかなえるかを表

し、過去3年間の平均数値を使います。「1」に近いほど財政力が強いとされます。

経常収支比率 市にどれだけ自由に使えるお金があるかを見る指標。毎年決まって入ってくるお金（経常的収入）が給与や市債の返済などの毎年決まって支払うお金（経常的支出）にどれだけ使われているかの割合を示します。

実質赤字比率 普通会計の赤字額から財政運営の深刻度をみる比率。

連結実質赤字比率 市のすべての会計の赤字額から財政運営の深刻度をみる比率。

実質公債費比率 借金の返済額などの大きさから資金繰りの危険度をみる比率。18%以上になると地方債の発行について国・県の許可が必要となり、25%以上になると一部の地方債の発行が制限されます。

将来負担比率 負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率。350%を超えると健全化計画の策定を行い、財政の健全化を図らなければなりません。

平成28年度に行った主な事業

庁舎統合整備事業

庁舎統合に向けて、平成27年度から引き続き福岡庁舎の整備工事を実施しました。平成28年6月に、庁舎統合が完了しました。



津屋崎庁舎再生整備事業

庁舎統合後の津屋崎庁舎を、市民生活の拠点となり賑わいを生む、図書館・歴史資料館などの複合施設として再生するための整備工事を行いました。



コンビニ交付システム構築事業

利便性の向上と行政事務の効率化を図るため、マイナンバーカードを利用してコンビニエンスストア

で住民票等を取得できる環境を整備しました。平成28年7月から始まり、現在、5つのコンビニ事業者で利用することができます。



郷づくり交付金事業

地域自治を進めるため、市内8つの地域の郷づくり推進協議会に、運営資金・活動資金として交付金を交付しました。



世界遺産登録活動事業

新原・奴山古墳群を広く周知するため、古墳群を周遊する、古墳馬車を購入しました。また、古墳群を一望できる場所にトイレを設置しました。



公共下水道事業の
安定的な経営のために

公共下水道の整備状況は、平成28年度末で普及率が98%を超え、多くの人たちが利用できる環境が整いました。公共下水道が整備された地域では、たくさんの人たちに公共下水道を利用していただきたいと市では考えています。まだ利用していないご家庭や事業所は、公共下水道への接続をお願いします。

市の公共下水道事業は、地方公営企業法を適用して初めての決算となりました。損益計算書などの財務諸表により事業の財務状況を明確にすることができるようになっています。

今後、これまで整備のために借り入れした企業債の本格的な償還が始まります。また、耐用年数を経過する施設の更新に必要な経費の増加など厳しい財務状況になるものと予測されます。公共下水道事業は、これまで以上に独立採算が求められるとともに、長期的な視点での事業経営を行っていかねばなりません。

そのため、将来にわたり安定的で持続可能な公共下水道事業経営に向けての取り組みを進める必要があります。市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。



▲津屋崎処理区のマンホール蓋

▲福岡処理区のマンホール蓋



▲公共下水道接続後の検査

減価償却費 下水道施設などの資産の価値が1年間で減少した分を費用化したもの。
長期前受金戻入 下水道施設などの資産を整備したときに、県からもらった補助金などを、減価償却に対応して収益化したもの。
企業債 下水道施設の整備のために借りたお金。下水道施設の整備には多額のお金が必要で、その費用を一括で支払うと資本的収支に大きな影響を及ぼすこととなります。一方で、整備した施設はその後数十年にわたって使用するので、施設を利用する世代間の負担を公平にするため、財源として活用しています。

公共下水道事業の活動に必要な費用と収益で構成されているよ。一方の資本的収支は、浄化センターや下水道管などの整備のための支出や、その財源となる収入などで構成されているんだ。
2つは全く性質が違うものなんですね。では、決算の内容についても教えていただけますか。
収益的収支は、19億793万8千円の収入に対して18億4295万2千円の支出があったんだ。一方の資本的収支は、9億1519万円の収入に対して13億8907万7千円の支出があったよ。
あら、資本的収支は赤字だったの？
決算額だけ見ると赤字だけど、資本的収入のグラフを見て。補てん財源という項目があるだろう。公

営企業会計には、減価償却費や長期前受金戻入など現金を伴わない収支を収益的収支に計上して現金を貯める仕組みがあるんだ。この現金で資本的収支の不足額を補てんしたんだよ。現金を貯めるこの仕組みが、公営企業会計の特徴の一つで将来はここから下水道施設の更新費用なども捻出するんだ。
公共下水道事業の収入には、どんなものがあるんですか。
収益的収入は、下水道使用料や国の基準に基づいて一般会計からもらう負担金、収入不足を補う一般会計からの補助金、長期前受金戻入などがあるよ。資本的収入は、施設整備のために国からもらう補助金や、企業債の借入金などがあるよ。
下水道使用料だけじゃないんですね。では、支出はどんなもの

がありますか。
収益的支出には、下水道施設の維持管理費や企業債の支払利息、減価償却費などがあるんだ。資本的支出には、下水道施設の整備のための支出である建設改良費や企業債借入金の元金の償還金などがあるよ。
公共下水道事業だけでもいろいろな収入や支出があるなあ。それに、花子さんに一般会計のこともたくさん教えていただきましたが、まちづくりにはさまざまな分野の事業があるんですね。
そうですね、どんな事業も重要度や緊急度を考慮して予算を編成しているから、みんなで力を合わせて進めていかなきゃね。
はい、僕ももっと勉強して頑張ります。

補てん財源 資本的収支において、財源の不足を補うもの。減価償却費など現金の支出を伴わない費用によって企業内に残された資金（現金）などで構成されます。

語句の説明



神興次郎
市下水道課職員。公共下水道事業の会計を担当

公共下水道事業は
企業会計方式になって
初めての決算

あれ？下に別のグラフがありませんね。これは何のグラフですか。公共下水道事業会計の決算のグラフよ。平成28年度から公営企業会計になって、民間企業のような複式簿記による会計方式をとることになったの。
公営企業会計？複式簿記？なんだかまた難しそうだな...
一般会計とは会計の方式が違うのよ。あ、下水道課の次郎さんがいるわ。詳しく聞いてみましょう。
次郎さん、公共下水道事業会計について教えてください。公営企業会計ってどんなものなんですか。
公営企業会計は、資産や負債など現金の出入りを伴わないものも含めて管理するんだよ。今までよりも分かりやすく財政状況を把握することができるようになった。
1つの会計に、収益的収支と資本的収支の2つの収支があるのね。どう違うの？
収益的収支は、浄化センターや下水道管などの下水道施設を動かす経費や下水道使用料など、日々の

